

地域の小さな声を聴く力。公明党

令和元年度区議会第2回定例会における公明党の代表質問

未来への投資・ 教育負担の 軽減について

①幼児教育無償化は、国制度の仕組みに都と区の独自支援が講じられていることから、保護者、事業者への丁寧な周知と、様々な問い合わせに対応する専用の相談窓口が必要と考えるが、区の見解を問う。

【答弁】専用のコールセンターを臨時に設置し、さらにホームページの充実など利用者目線でわかりやすい周知方法を検討し実施する。

②改めて学校給食費の無償化に特化した周知を実施すべき。区の見解を問う。

【答弁】9月ごろに保護者の方がわかりやすいように、表現の工夫をして周知する。

③新BOP学童クラブの開設時間の延長については、個別的配慮が必要な児童の延長利用登録ができないことが無いよう、2年間の検証を待たずに柔軟な職員の配置等を検討せよ。

【答弁】アンケート調査を実施して、ニーズやモデル事業に対する意見を把握し利用対象学年と職員配置を検討する。

2025年 大介護時代に 備えて

①認知症の人にやさしいまちづくり条例について、世田谷らしい条例の制定を早期に進めよ。

【答弁】区民・事業者・行政の役割を明確にし、認知症の人の意思が尊重され、安心して暮らし続けられるよう、世田谷らしい条例制定に取り組む。

②フレイル予防について、あらゆる場や機会を通して養成されたフレイルサポーターによる包括的フレイルチェック事業を施策として全区展開せよ。

【答弁】既にあるボランティア活動等の仕組みを充実させ、世田谷らしいフレイル予防の取り組みを推進する。

新たな 事業評価に ついて

図書館については、新公会計制度による事業評価で費用対効果、来館者の推移などの検証を行い、業務委託や指定管理制度との比較検証をせよ。

【答弁】民間による運営と直営との比較といった視点での評価なども踏まえて効率的な運営を目指す。

新教育長の 教育方針に ついて

就学前教育をすべての子どもが享受できるようにすることを前提として、世田谷版スタンダードカリキュラムの作成に向けた検討状況を示せ。

【答弁】質の高い教育・保育を全ての子どもに活かしていくことを目指し、作成に向けた検討を進める。

食品ロス削減に ついて

区における災害用備蓄食の活用の現状と今後の取り組みについて区の方針を示せ。

【答弁】災害用備蓄食については、配分の方法を工夫して有効活用に取り組む。

園外活動における 安全対策について

大津市の事故を受け、速やかな安全点検の実施と対策を講じよ。

【答弁】リスクマネジメント研修の実施など人材育成支援に努め、安全対策が強化される様に努める。